

ガーデン・スポット(展示場)と顧客フォローアップ

はじめに

創業昭和34年以来、当社は滋賀県(近江)東部に拠点を置いて、個人の作庭と維持管理を中心に仕事をさせていただいています。先代から「個人のお客様は大事、すこし無理な事を言うかもしれへん、でもうちにできなかったら最初から言葉はかかないからなあ」と言っては、こつこつと仕事をしています。今も変わらず個人のお客様や工場緑化を主体に、琵琶湖周辺でこつこつと仕事をさせていただいています。

お客さまとの接点になる時と場所を設ける

お客様や近隣の方からたまに、「造園屋さんほどのような仕事をしておられるのですか?」「木を植えたりもされるのですか?」「外構工事もあるのですか?」「木の手入れはしてもらえますか?」「樹木の病虫害の処理もしておられるのですか?」など、このような作業もしておられるのか、という驚嘆の意味を含んだ問い合わせを受けます。

造園という仕事に従事していると当たり前の事だけれど、造園という事に接した事のない方や、あまり深く理解されていない方が多くおられるのだなあと、たびたび痛感させられました。

造園という仕事内容を知っていただくために、お客さまとの接点になる時と場所を設けようと、2004年秋に展示場(ガーデンスポット)とホームページの開設を行いました。ガーデンスポットは、同じような仕事をされている田中石材さんの隣接地。『川窪さん、隣においでよ。ここに展示場を持てば相乗効果あるよ。』と社長さんの言葉。同じような仕事をしている人には競合という立場上、協賛できる姿勢はなかなか出せないもので、あえて言っていたいた時が双方に良いチャンスだと思ひ、この地に展示場を開設しました。同業者や異業種の方々からオープン以降、いろいろな意見を頂戴いたしました。このコラ

ボレーションは私たちだけでなく、他の方面にも好影響を与えたと思います。

ガーデンスポットはバージョンアップ型ガーデンというテーマで、少しずつモデル庭園の形を変えて提案しています。展示会は春秋どちらかに開催するようにしていますが、決まっています。今後は、指定日を決めて開催したいと思ひます。(お客様も楽しみにされていますから)。

常設の展示場ですから、お客様の都合のいい時に見に来られ、丸ごとモデル庭園を買われて、少しイメージアップして作庭させていただくお客様もあります。

幅広い分野の庭をご提案

ホームページは仕事の内容の明確さを主体に作っていただきました。写真入りの施工例やリ・ガーデンの施工例、施工参考価格等記載してあります。またインターネットで当社名を調べられる方もおられますが、(造園(剪定)料金・

有限会社川窪造園
川窪 康弘

価格、リ・ガーデンサンプル等)の言葉でアクセスされる方がたくさんおられ、施工価格料金や施工事例に、興味と安心感を求める方が多いように思ひます。今後はお客様を知りたい事を明確に打ち出していこうと思ひています。

設計積算のお問い合わせのときは、造園三次元CADで、設計はもちろんの事、植物の種類や樹高などからCO2吸収量を算出したり、敷地内の緑被率や保水性・透水性舗装などの面積率などを元に、住まいの温暖環境指数の評価提案をしております。

CO2吸収量算出はフアクトリ1関係では好評です。またデジタル撮影し、部材をその1コマに貼りあわせて、完成予想図を分かりやすく(写真風あるいは絵画調に)提案させていただいています。どのような庭にしたいのか分からないお客様には、選択性と打ち合わせの時間を考慮して、2案ぐらい造園連のリーフレットを当社の施工事例とともに提出するように心がけています。

当社のグリーンテッククラブ(施工グループ)には、男性3名、女性4名と、造園業界では異例の女性スタッフが充実しています。女性ならではの感性や発想で、思



事務所にはゆるキャラがお出迎え

お客様が育ててくれる

お客様からの依頼時、「このような庭石を使って石積みをしていただきたい。樹木は今の敷地内にあるあの樹木を少し使って...」『今後メンテナンス料金があまりかからない木を植栽して庭を造ってほしい』『子供が入学したときの記念樹が、剪定してから少し弱っているのでは何かしてほし

と親睦を深め、生活と技術の向上、諸問題の解決に努める。

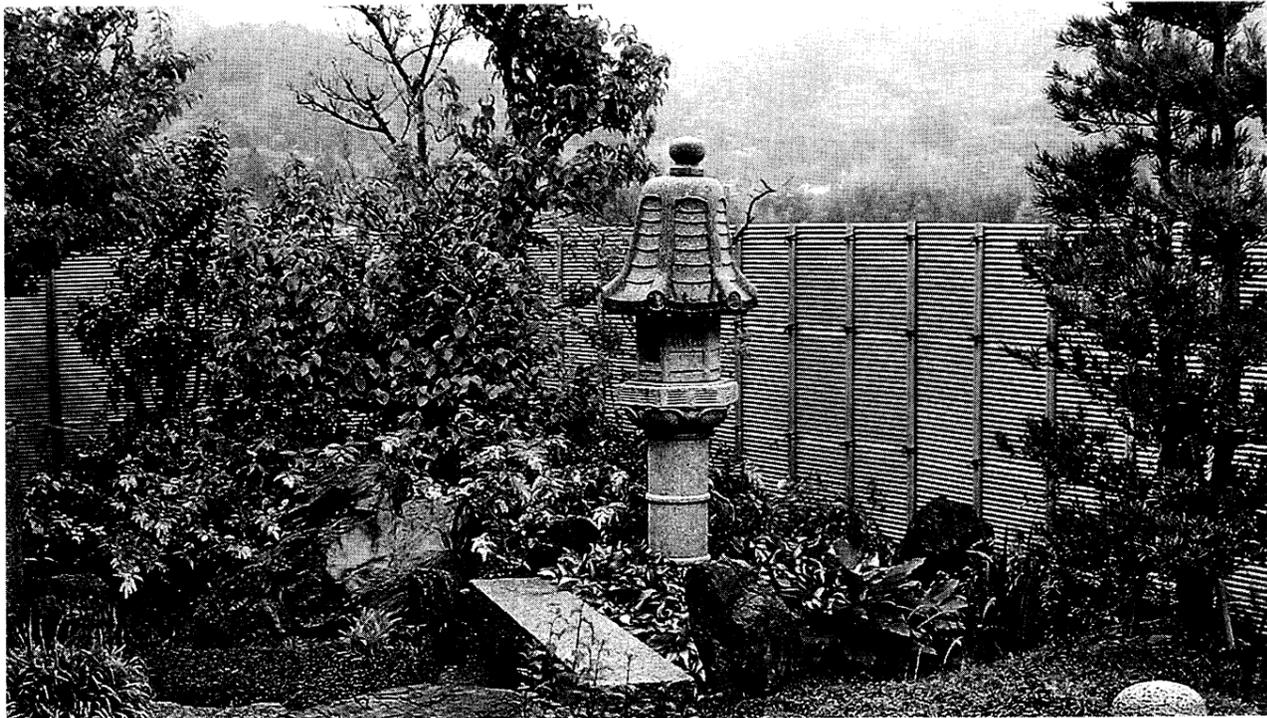
行動基準(課題)

1. 作庭にあたり、施主を満足させる基本姿勢や態度の醸成。
2. 大衆の庭に対する法則の理解。
3. 大衆が希望する多様なニーズに応える作風の拡大。
4. ローコスト、ハイクオリティの庭の追求。
5. 作庭のメンテナンスの要望に応じられる、有効な手段や仕組みの開発。
6. 大衆が庭の専門家と交流できる作品展や、庭の相談等の機会を提出。

事業活動が続けるには、誠意と努力が必要です。お客様に尽くすには情報、知識、知恵、技術が必要です。絶えず変化と改善を求め、奮闘するアイデアを持ち続けることが必要です。

これからの地道に緑・花・庭園に興味関心が高まる新たなアイデア「ひとりひとりに合った「個性化」・はかと違った「差別化」・電子の「ハイテク化」・豪華な「高級化」を出し続けられるように、頑張っていこうと思ひています。

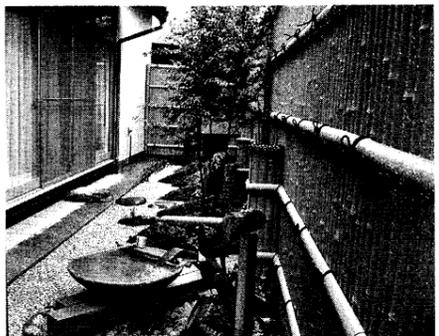
▽(有)川窪造園ホームページ
<http://www.4128.jp/>



借景を考慮した小庭



高低差のあるアプローチと手作りポスト



奥行きスペースが少なく横長の竹垣のある小庭



コーナーに憩いのスペース

終わりに

当社が、継続的に目指すべき使命として位置づけている経営理念と、仕事に取り組み際、共有する価値観。目標を示している経営ビジョン。事業活動を展開するにあたり、社会性と人間性の下で専門性を果たすために、ひとりひとりがすべき具体的な行動基準を、以下に掲げています。

経営理念

わが社は、創意 工夫 そして基本をモットーに、大衆のニーズにこたえて、豊かな感性で、確実な技術を駆使し、価値観を創りま

経営ビジョン

1. 作庭を社会の発展の中で正しくとらえる。
2. 作庭の優れた伝統技術と理解を継承し、その発展に努める。
3. 庭師の結集を図り、相互理解